

# 令和4年度

# 学校評価

## 1 回答者

実施日 令和5年1月11日(水)～1月19日(木)

生徒30名(在籍30名) 保護者28名(回収率100%) 教職員13名

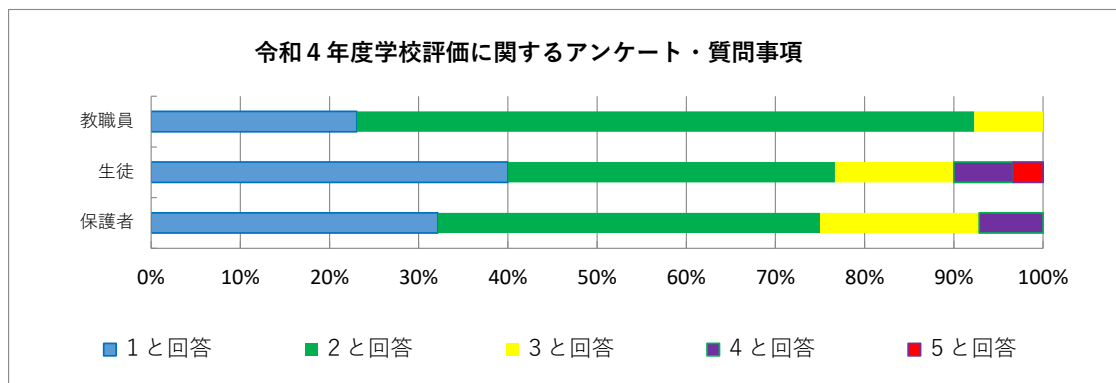
## 2 回答方法

各質問事項に対して、「そう思う」は1、「ほぼそう思う」は2、「どちらともいえない」は3、「あまり思わない」は4、「思わない」は5、の5段階で回答していただき、「そう思う」「ほぼそう思う」を肯定的意見、「あまり思わない」「思わない」を否定的意見として、調査結果を分析した。

## 3 結果の活用

調査結果は2月上旬に取りまとめ、全ての教職員に配付して課題や改善点を明らかにしました。そこから得たものを5年度の学校運営や教育方針、さらに重点目標に反映させていきます。

また、保護者や学校運営協議会委員の方にも調査結果をお示ししてご助言をいただき、改善すべきは積極的に改善するよう努めています。



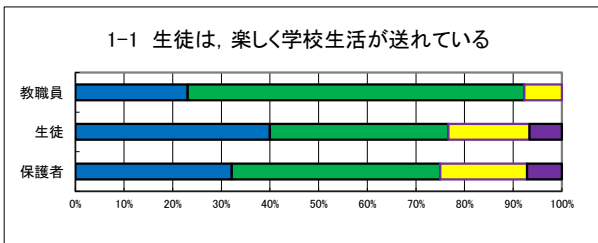
割合については、少数点第1位を四捨五入して表記していますので合計が100%になっていないことがあります。



# 1 学校生活に関すること

## 1-1 学校生活が楽しい

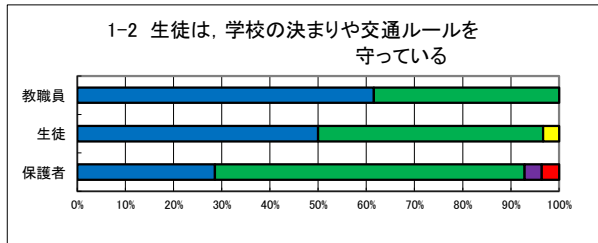
	1	2	3	4	5
教職員	3(23%)	9(69%)	1(8%)	0(0%)	0(0%)
生徒	12(40%)	11(37%)	5(17%)	2(6%)	0(0%)
保護者	9(32%)	12(43%)	5(18%)	2(7%)	0(0%)



教職員 生徒は、楽しく学校生活を送れている  
 生徒 学校生活は楽しい  
 保護者 お子さんは、学校生活を楽しく送れている

## 1-2 学校の決まり、交通ルール

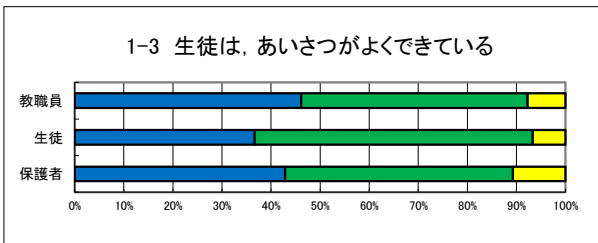
	1	2	3	4	5
教職員	8(62%)	5(38%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
生徒	15(50%)	14(47%)	1(3%)	0(0%)	0(0%)
保護者	8(29%)	18(64%)	0(0%)	1(4%)	1(4%)



教職員 生徒は、学校のきまりや交通ルールを守っている  
 生徒 自分は、学校のきまりや交通ルールを守っている  
 保護者 福中生は、学校のきまりや交通ルールを守っている

## 1-3 あいさつ

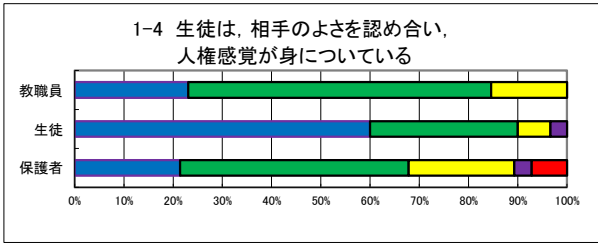
	1	2	3	4	5
教職員	6(46%)	6(46%)	1(8%)	0(0%)	0(0%)
生徒	11(37%)	17(57%)	2(7%)	0(0%)	0(0%)
保護者	12(43%)	13(46%)	3(11%)	0(0%)	0(0%)



教職員 生徒は、あいさつがよくできている  
 生徒 自分は、あいさつがよくできている  
 保護者 福中生は、あいさつがよくできている

## 1-4 人権、仲間づくり

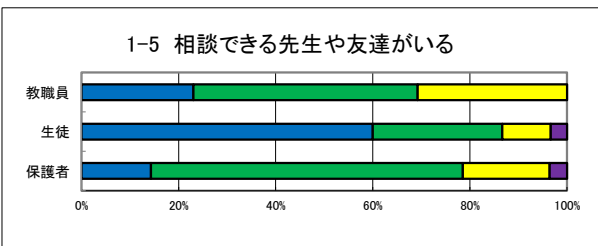
	1	2	3	4	5
教職員	3(23%)	8(62%)	2(15%)	0(0%)	0(0%)
生徒	18(60%)	9(30%)	2(7%)	1(3%)	0(0%)
保護者	6(21%)	13(46%)	6(21%)	1(4%)	2(7%)



教職員 生徒は、相手のよさを認め合い、人権感覚が身についている  
 生徒 自分や相手のよさを認め合い、いじめのない仲間づくりができている  
 保護者 福中生は、自分や相手のよさを認め、いじめのない仲間づくりができている

## 1-5 教育相談

	1	2	3	4	5
教職員	3(23%)	6(46%)	4(31%)	0(0%)	0(0%)
生徒	18(60%)	8(27%)	3(10%)	1(3%)	0(0%)
保護者	4(14%)	18(64%)	5(18%)	1(4%)	0(0%)



教職員 生徒の悩み事や相談に適切に対応することができる  
 生徒 相談できる先生や友達がいる  
 保護者 福中は子どもの相談や悩み事に適切に対応している

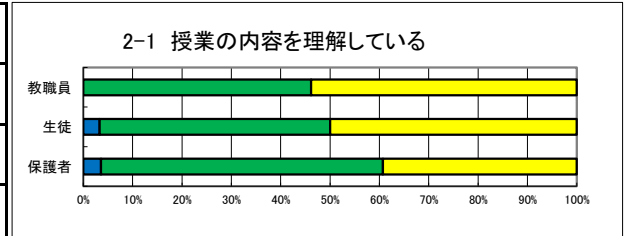
## 1の考察

「学校が楽しい」と答えた生徒の割合が昨年度に比べ16%上昇した。その他の項目においても、生徒、保護者、教職員それぞれで「そう思う」「ほぼそう思う」と答えた人の割合が高くなっており、小規模校の利点を生かした一人一人をしっかりと見つめ、きめ細やかな支援を展開してきた成果であると思われる。また、ふるさと学習や人権学習を通して、福井町や福井中学校の良さを再確認することで、生徒自らよりよい学校生活を築いていこうとする意欲が感じられるようになった。これからも学校だけでなく、保護者や地域との連携を強化し、生徒理解に努め、一人一人に応じた支援体制の構築に取り組んでいきたい。

## 2 学習に関すること

### 2-1 授業理解

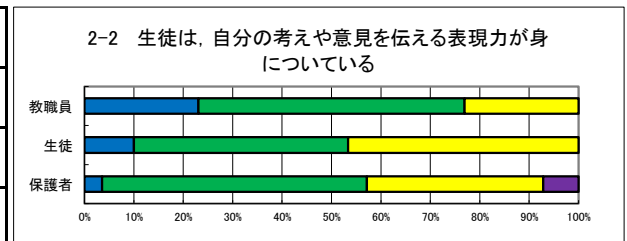
	1	2	3	4	5
教職員	0(0%)	6(46%)	7(54%)	0(0%)	0(0%)
生徒	1(3%)	14(47%)	15(50%)	0(0%)	0(0%)
保護者	1(4%)	16(57%)	11(39%)	0(0%)	0(0%)



教職員 生徒は、授業の内容をよく理解している  
 生徒 自分は、授業の内容をよく理解している  
 保護者 福中生にとってわかりやすい授業ができています

### 2-2 コミュニケーション、表現力

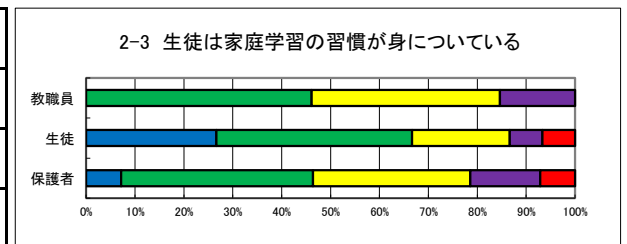
	1	2	3	4	5
教職員	3(23%)	7(54%)	3(23%)	0(0%)	0(0%)
生徒	3(10%)	13(43%)	14(47%)	0(0%)	0(0%)
保護者	1(4%)	15(57%)	10(36%)	2(7%)	0(0%)



教職員 生徒は、自分の考えや意見を伝える力が身についてきている  
 生徒 自分は、自分の考えや意見を伝える力などの表現力が身についてきている  
 保護者 福中生は自分の考えや意見を伝える力が身についてきている。

### 2-3 家庭学習

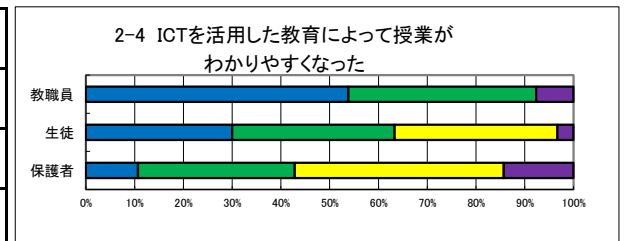
	1	2	3	4	5
教職員	0(0%)	6(46%)	5(38%)	2(15%)	0(0%)
生徒	8(27%)	12(40%)	6(20%)	2(7%)	2(7%)
保護者	2(7%)	11(39%)	9(32%)	4(14%)	2(7%)



教職員 生徒は、家庭学習の習慣が身についている  
 生徒 自分は、家庭学習をする習慣が身についている  
 保護者 お子さんは、家庭学習の習慣が身についている

### 2-4 ICT活用

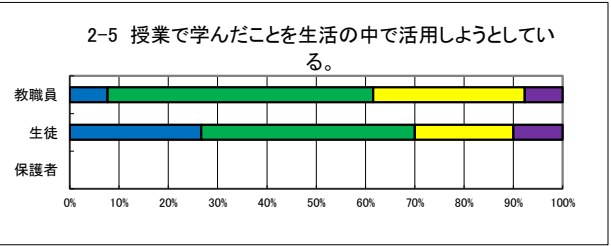
	1	2	3	4	5
教職員	7(54%)	5(38%)	0(0%)	1(8%)	0(0%)
生徒	9(30%)	10(33%)	10(33%)	1(3%)	0(0%)
保護者	3(11%)	9(32%)	12(43%)	4(14%)	0(0%)



教職員 学習活動においてICTを効果的に活用することができている  
 生徒 ICT(タブレット等)を活用することによって授業がわかりやすくなった  
 保護者 福中はICT(タブレット等)を効果的に活用している

## 2-5 生活への活用

	1	2	3	4	5
教職員	1(8%)	7(54%)	4(31%)	1(8%)	0(0%)
生徒	8(27%)	13(43%)	6(20%)	3(10%)	0(0%)
保護者					



教職員 生徒は、授業で学んだことを生活の中で活用しようとしている  
 生徒 授業で学んだことを生活の中で活用しようとしている

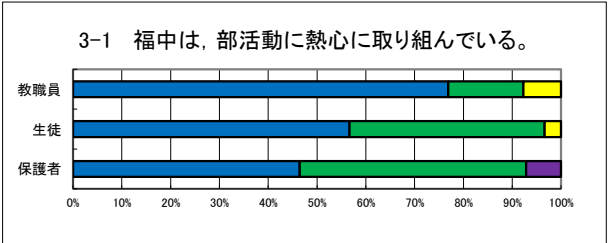
## 2の考察

授業理解の項目においては「どちらともいえない」と回答した生徒、教職員の割合が高かった。日々の授業において授業の振り返りを行っているが、学んだことを確認する学習をさらに進めていきたい。自分の考えや意見を伝える力の育成では、人権劇や意見発表の活動を通して身につけてきたように思われる。授業における課題設定や授業形態の工夫等に加え、学校生活の中で表現力を養う場面を多く設定していきたい。家庭学習においては昨年度に比べ、「そう思う」「ほぼそう思う」と答えた生徒が16%上昇した。自主学習ノートにも工夫が見られ、個人差はあるが家庭学習の意義を理解し、学習時間の確保に努めていこうとする姿勢も見られた。本校では「主体的・対話的で深い学びを追究する学習指導」に取り組んできた。ICTの効果的な活用や学習したことの生活化等、少しずつではあるが成果も見られた。生徒や保護者がより実感できるようにこれからも研修を進めていきたい。

## 3 体力づくりに関すること

### 3-1 部活動

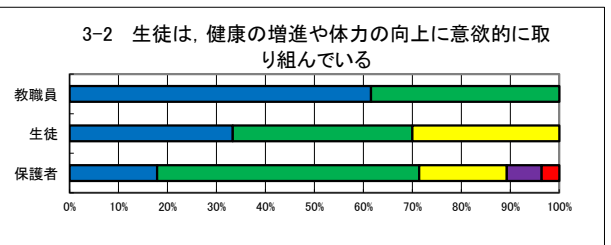
	1	2	3	4	5
教職員	10(77%)	2(15%)	1(8%)	0(0%)	0(0%)
生徒	17(57%)	12(40%)	1(3%)	0(0%)	0(0%)
保護者	13(46%)	13(46%)	0(0%)	2(7%)	0(0%)



教職員 福中は、部活動等に熱心に取り組んでいる  
 生徒 福中は、部活動等に熱心に取り組んでいる  
 保護者 福中は、部活動等に熱心に取り組んでいる

### 3-2 健康、体力づくり

	1	2	3	4	5
教職員	8(62%)	5(38%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
生徒	10(33%)	11(37%)	9(30%)	0(0%)	0(0%)
保護者	5(18%)	15(54%)	5(18%)	2(7%)	1(4%)



教職員 福中は、健康の増進や体力向上に意欲的に取り組んでいる  
 生徒 自分は、健康の増進や体力向上に意欲的に取り組んでいる  
 保護者 お子さんは、健康の増進や体力向上に意欲的に取り組んでいる

## 3の考察

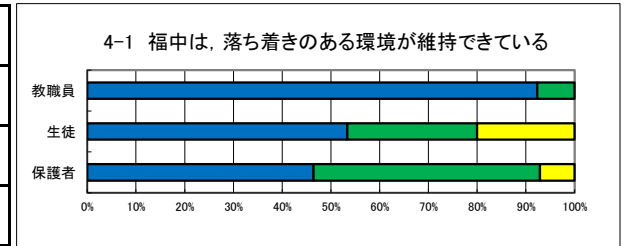
部活動の質問では「そう思う」「ほぼそう思う」と生徒、保護者、教職員の90%以上が回答しており、全体的に部活動に熱心に取り組むことができている。今後も保護者や生徒に部活動の意義や運営方法について理解を図るとともに、安心・安全に活動できる部活動運営の工夫に努めていきたい。健康・体力づくりでは、全ての教職員は、「そう思う」「ほぼそう思う」と回答。生徒・保護者についても70%以上が「そう思う」「ほぼそう思う」と回答。朝の体力づくりへの参加生徒の割合も80%以上となっており、生徒一人一人が健康の増進・体力向上に意欲的に取り組んでいると思われる。今後も健康教育の充実に取り組むとともに、心と体の健康について個別指導を行っていききたい。

## 4 学校環境に関すること

### 4-1 落ち着いた環境の維持

	1	2	3	4	5
教職員	12(92%)	1(8%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
生徒	16(53%)	8(27%)	6(20%)	0(0%)	0(0%)
保護者	13(46%)	13(36%)	2(7%)	0(0%)	0(0%)

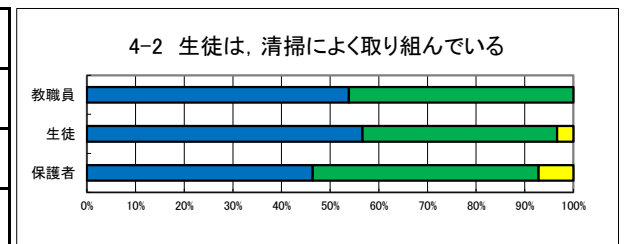
教職員 福中は、落ち着いた環境が維持できている  
 生徒 福中は、落ち着いた環境が維持できている  
 保護者 福中は、落ち着いた環境が維持できている



### 4-2 清掃活動への取組

	1	2	3	4	5
教職員	7(54%)	6(46%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
生徒	17(57%)	12(40%)	1(3%)	0(0%)	0(0%)
保護者	13(46%)	13(46%)	2(7%)	0(0%)	0(0%)

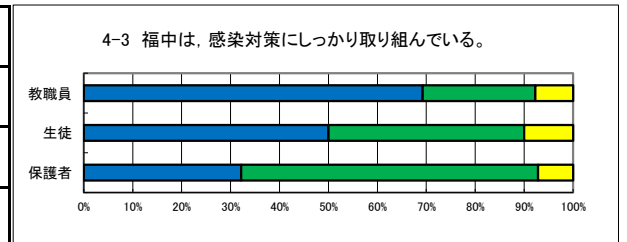
教職員 福中は、清掃によく取り組んでいる  
 生徒 自分は、清掃によく取り組んでいる  
 保護者 福中生は、清掃によく取り組んでいる



### 4-3 感染症対策

	1	2	3	4	5
教職員	9(69%)	3(23%)	1(8%)	0(0%)	0(0%)
生徒	15(50%)	12(40%)	3(10%)	0(0%)	0(0%)
保護者	9(32%)	17(61%)	2(7%)	0(0%)	0(0%)

教職員 福中は、感染症予防に積極的に取り組んでいる  
 生徒 自分は、感染症対策にしっかりと取り組んでいる  
 保護者 福中は、感染症対策にしっかりと取り組んでいる



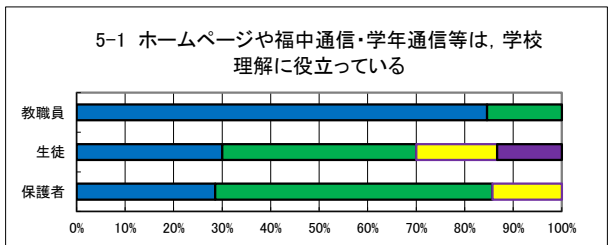
## 4の考察

落ち着いた環境の維持においては、教職員は100%が、生徒は80%が、保護者は82%が肯定的な意見を示している。朝の全校読書や教育相談、授業規律の確保など、落ち着いた環境のある生活をめざした取組の成果が現れている。また、施設の修繕や掲示物の工夫など、教育環境の整備に努めてきたことで、落ち着いた環境が維持できており、今後も継続していきたい。清掃活動では、教職員100%、生徒97%、保護者92%が「そう思う」「ほぼそう思う」と回答した。生徒は毎日の清掃活動に真面目に取り組むことができている。今後も生徒自身での清掃活動の振り返りや生徒会の委員会活動を積極的に行う中で、学校の環境美化に取り組んでいきたい。感染症対策では90%以上の生徒、保護者、教職員が感染症対策にしっかりと取り組んでいると回答した。生徒は検温や手指消毒など感染症対策が習慣化しており、毎日の健康観察表も忘れずに提出することができた。今後も、これらの習慣の定着を図っていききたい。

## 5 開かれた学校づくりに関すること

### 5-1 ホームページ、学校通信

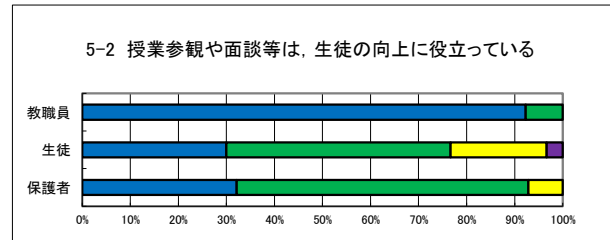
	1	2	3	4	5
教職員	11(85%)	2(15%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
生徒	9(30%)	12(40%)	5(17%)	4(13%)	0(0%)
保護者	8(29%)	16(57%)	4(14%)	0(0%)	0(0%)



教職員 ホームページや福中通信、学年通信等は、学校理解に役立っている  
 生徒 自分は、ホームページや福中通信、学年通信をよく読んでいる  
 保護者 ホームページやマチコミ、福中通信、学年通信等により学校の取組や生徒の活動の様子がよく分かる

### 5-2 授業参観や面談の実施

	1	2	3	4	5
教職員	12(92%)	1(8%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
生徒	9(30%)	14(47%)	6(20%)	1(3%)	0(0%)
保護者	9(32%)	17(61%)	2(7%)	0(0%)	0(0%)



教職員 参観授業や面談等を、適切に実施することができた  
 生徒 参観授業や面談は自分自身の向上に役立っている  
 保護者 参観授業や面談等は、適切に実施できている

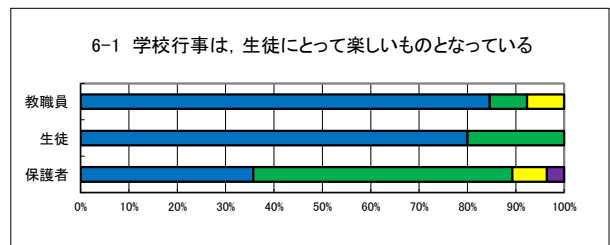
## 5の考察

ホームページ・学校通信の質問では「そう思う」「ほぼそう思う」と答えた保護者は86%、生徒は70%で、共に昨年度よりも多くなった。日々の活動の様子等を毎日ホームページに掲載するなど、取組の成果が見られた。福中通信や学年通信も充実しており、今後も開かれた学校づくりに努めていきたい。授業参観や面談の適切な実施については、「そう思う」「ほぼそう思う」と答えた保護者は91%であった。多くの保護者の方が出席してくださり、学校の教育活動への理解につながっている。授業参観や面談が自分自身の向上に役立っているかとの質問では「どちらともいえない」と20%の生徒が回答しており、参観授業が一人一人の生徒の向上が見られる場になるよう工夫するとともに、面談等が個々の生徒の成長を伝えられる場になるよう見直していきたい。

## 6 学校行事に関すること

### 6-1 学校行事は楽しい

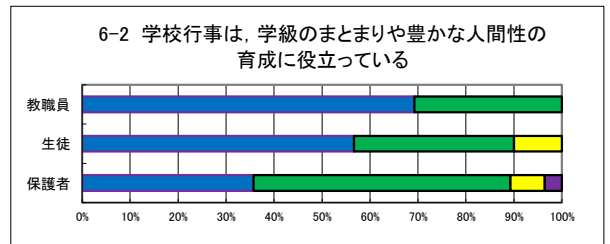
	1	2	3	4	5
教職員	11(84%)	1(8%)	1(8%)	0(0%)	0(0%)
生徒	24(80%)	6(20%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
保護者	10(36%)	15(54%)	2(7%)	1(4%)	0(0%)



教職員 学校行事は、生徒にとって楽しいものとなっている  
 生徒 福中の学校行事は楽しい  
 保護者 学校行事は、生徒にとって楽しいものとなっている

### 6-2 学校行事は学級のみならず豊かな人間性の育成に役立っている

	1	2	3	4	5
教職員	9(69%)	4(31%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
生徒	17(57%)	10(33%)	3(10%)	0(0%)	0(0%)
保護者	10(36%)	15(54%)	2(7%)	1(4%)	0(0%)



教職員 学校行事は、学級のみならず豊かな人間性の育成に役立っている  
 生徒 学校行事は、学級のみならず豊かな人間性の育成に役立っている  
 保護者 学校行事は、学級のみならず豊かな人間性の育成に役立っている

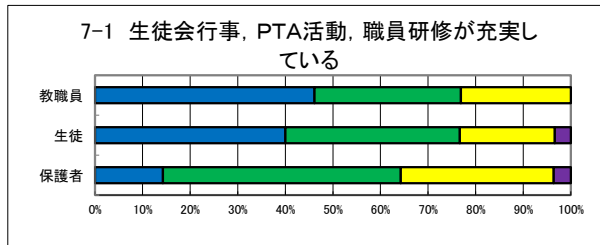
## 6の考察

学校行事は楽しいと生徒の100%が回答した。生徒自らが考え、主体的に取り組む学校行事をテーマに取り組んできた成果である。今後も続けていきたい。「学校行事は学級のまとまりや豊かな人間性の育成に役立っている」の質問では、教職員の100%、生徒、保護者の90%が「そう思う」「ほぼそう思う」と回答した。新型コロナウイルス感染症対策で本来の予定通りに行事が行えないこともあり、全員の希望に沿うことは、なかなか難しいこともあった。そんな中でも生徒は自分たちでできることを考え、主体的に行事を計画・実行したことで、学級の仲間意識が高められ、他を思いやる気持ちが育まれたと考えられる。今後、生徒数が減少する中いかに魅力ある活動を実施していくかが課題である。

## 7 その他

### 7-1 生徒会行事, PTA活動, 職員研修の充実

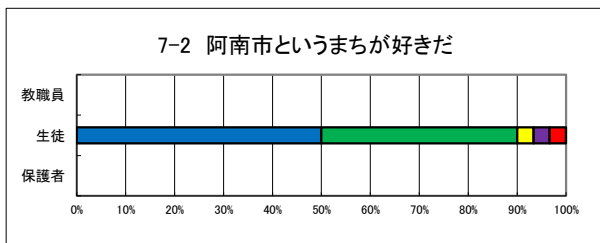
	1	2	3	4	5
教職員	6(46%)	4(31%)	3(23%)	0(0%)	0(0%)
生徒	12(40%)	11(37%)	6(20%)	1(3%)	0(0%)
保護者	4(14%)	14(50%)	9(32%)	1(4%)	0(0%)



教職員 職員研修は有意義なものになっている  
 生徒 生徒会活動は生徒の意見を反映し充実している  
 保護者 PTA活動は会員の意見をもとに、充実した活動ができている

### 7-2 郷土愛

	1	2	3	4	5
教職員	0	0	0	0	0
生徒	15(50%)	12(40%)	1(3%)	1(3%)	1(3%)
保護者	0	0	0	0	0



生徒 阿南市というまちが好きだ

## 7の考察

生徒会, PTA活動, 職員研修の充実に関する質問では「そう思う」「ほぼそう思う」と答えた教職員が77%, 生徒が77%, 保護者が64%となっており, 昨年度に比べ, 三者ともその割合は高くなっている。しかし, 「どちらともいえない」「あまり思わない」が教職員が23%, 生徒が23%, 保護者が36%あり, 参加者の意見や要望をしっかりと聞きながら, 一人一人が主体的に活動することができる生徒会活動やPTA活動, 職員研修を考えていく必要があると感じる。特にPTA活動では生徒数の減少に伴い保護者の負担が大きくなっている。適切な運営について保護者等と協議をしていく。「阿南市というまちが好きだ」の質問では, 90%以上の生徒が肯定的な意見をもっている。昨年度に比べ10%上昇した。総合的な学習の時間等を通してふるさと学習に取り組んできた成果である。今後も地域のよさを見つける活動や, 地域の人とふれあう機会を持ち, 福井町や阿南市のよさをあらためて感じる場を設けていきたい。